

# キャリアマネジメント くらし分野 学習指導案

授業者 T 1 西 勉 T 2 小田原 舞  
T 3 藤井 朋子 T 4 向井 紋子

**日時** 平成 27 年 11 月 21 日（土） 3 校時 13:15～14:05

**年組** 東雲中学校 全学年 3 組 16 名

（1 学年 男子 3 女子 1 名， 2 学年 男子 5 名 女子 1 名， 3 学年 男子 5 名 女子 1 名）

**場所** 中学校マルチルーム

**単元** 「〇〇説明会」 ～説明会をとおして東雲中学校のよさを小学生に伝えよう～

## 単元について

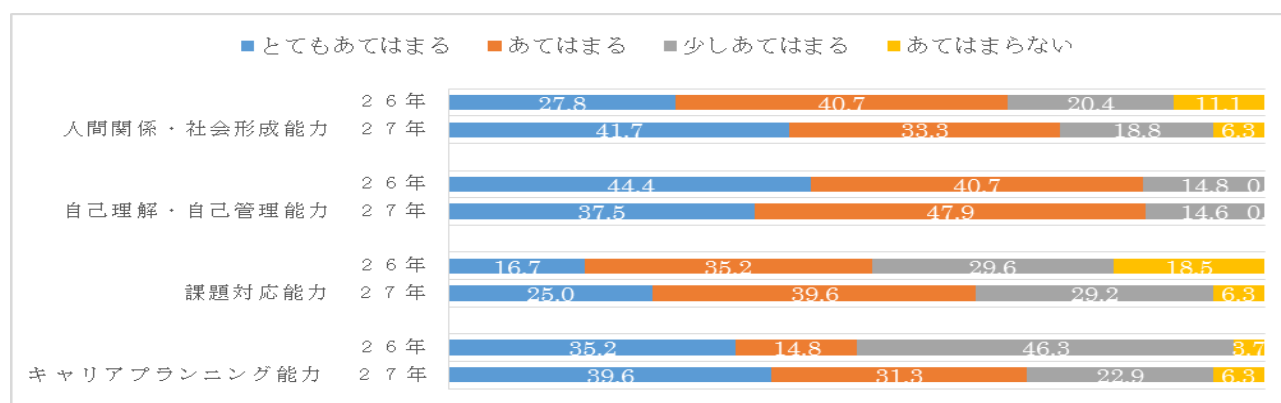
本校の特別支援学級は、中・軽度の知的障害特別支援学級である。全学年 16 名（1 学年 4 名， 2 学年 6 名， 3 学年 6 名）の生徒が在籍し，特別支援学級としては比較的大きな集団である。生徒の実態としては，意欲的に課題に取り組み，考えて行動しようとする生徒，自分の意見を表現することが難しい生徒，聞かれたことに適切に返答することが難しい生徒などさまざまであり，課題や支援の方法も個々で違いがある。毎日のようにバスケットボールを行うなど，学習での活動だけにとどまらず，生活の中でも学年を超えて交流している。学校生活を通して集団の中で自分の役割を果たすということを意識し始めている。生徒たちは将来，社会の中で働きたいという思いを持っている。キャリアマネジメント「しごと」分野の学習場面などで他の生徒の言動に対して批判的な意見が多く出されていたが，そのような言動も少なくなり他の生徒のよいところを認める発言が増えてきた。また，すぐに確認を求め自信のない言動の多かった生徒においては，くり返し経験することで主体的に取り組もうとする姿が見られるようになった。生徒は学習したことや経験したことを実行に移すことや，誰かに話すといった気持ちは育っているが，わかりやすく人に伝えるための力はまだ十分とはいえない。

本校は平成 25 年度より文部科学省研究開発学校の指定を受け，「特別支援学級における社会的・職業的自立を目指した，生活力を育成するためのカリキュラムの研究開発」に取り組んでいる。具体的には，特別支援学校（知的障害）中学部の教科である「職業・家庭」の内容に，ライフキャリアの観点から社会生活に関わる内容を付加した新教科「キャリアマネジメント」を教育課程に位置づけ，生涯にわたって自らの生活をマネジメントしていける生活力の育成を目指し，指導を行っている。キャリアマネジメントでは指導内容を「しごと」「くらし」「かてい」の分野に整理し指導を行っている。本単元にかかわる「くらし」では，将来における自己の社会生活を考え，自己選択・自己決定しながら生活していくことや，情報の活用，集団の中で他者と協力・協働して社会に参画することに意欲をもたせることをねらいとしている。具体的には進路に関する内容や地域との関わりに関する内容など，将来の社会生活に関する内容を扱っている。また，キャリアマネジメントの授業では生徒相互の関わりを大切にしながら生活力を高める指導・支援を効果的に行うため，3 学年合同や学年での活動，縦割りグループでの活動を織り交ぜながら計画的に取り組んでいる。カリキュラム実施の効果を見取るため，昨年度に続き今年度も 5 月に本学級生徒を対象に「キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関わるアンケート」を実施した（表 1）。生徒たちはキャリア教育の 4 つの基礎的・汎用的能力に関する質問に自己評価をして回答した。その結果 4 つの能力の全ての項目について昨年度より肯定的な意見「とてもあてはまる」「あてはまる」が多くなっていることがわかった。このことから生徒は，キャリアマネジメントを含めた学習の中である程度の力をつけてきていることがわかる。生徒は繰り返し学習し経験を重ねていくことが必要であり，

その結果、キャリアマネジメントでつきたい力を付けていくことになると思う。これまでの学習では、他者に伝えることや、自分の経験を活かし適切に計画実行する機会はあまり多くなかった。そこでキャリアマネジメント「くらし」分野において、一連の内容を含めた単元として「〇〇説明会」を起こした。本単元では、それぞれの学年が、中学校で学習した様々な内容を他者に伝える説明会を行う。説明会を行うための計画を立てることや、自分たちの日々の活動をまとめ説明することで学習内容の理解を深める。2、3年生においては昨年度も同じ単元を学習しており、他者に説明するための基本的な知識は持っている。1年生においては「職場見学」(キャリアマネジメント「しごと」分野の一単元)や学年の行事を通して目標の設定・調べる・まとめるといった活動は経験し、ある程度のイメージは持つことができている。説明会を行うにあたり、他者に説明をするためには、その内容を十分理解している必要がある。学習内容をまとめる活動は、学習について理解を深めることにつながり、実際の説明会では、一方的でない伝え方の工夫が求められるため、説明の手段や手順を考えるなど相手を意識することにもなる。また、それぞれの生徒の意見を取り入れながら学習を展開し、協働的に問題解決をする場面を設定することで仲間と協力しながら取り組もうとする態度や責任など、将来の社会生活に向けて必要な生活力を育成することができる。今年度は東雲中学校よさを理解して、それを東雲小学校特別支援学級の児童に伝えたいと意欲が持てるように、よさを一人ひとりが考えるという学習を行うことにした。自分たちの日々の活動をまとめ説明することを通して、活動の目的を理解するとともに、よりよい活動にしていくことに意欲をもつことができると考えた。

授業を展開していくにあたっては、児童が実際にどのくらい中学校のことを知っているのか、どんなことを知りたいのかを把握するために、中学生が実際に小学校を訪問し、アンケートを実施することにした。次に生徒は「アンケート班」と「中学校のよさ班」に分かれグループごとに役割をもち課題に取り組むことで、それぞれの学習内容についての理解を深めていく。自分たちが考えた東雲中学校のよさについての項目と、小学生の知りたいと感じている項目が重なる部分が多いことを確認し、実際に説明会で説明する内容については、学年での経験が異なることから、学年ごとに担当を決めて説明することとする。1年生は「中学校の生活」、2年生は「職場体験学習」、3年生は「自分たちの進路」を説明するよう設定する。説明会実施に向けて、生徒はそれぞれの班での取り組みを活かし違った視点で考えることができることから「小学生が知りたいこと」「伝えたい中学校のよさ」という違った視点で話すことができ、相手にわかりやすく伝える工夫を行うことができると考えた。本時は説明会のリハーサルを行うことによって、それぞれの学年が準備した資料や説明方法、内容について、確認する学習を行う。説明をする側の生徒は役割を意識して活動できたか、説明を聞く側の生徒は説明学年の生徒が役割を意識して活動できたか、説明の方法や内容はわかりやすかったかなど、「よかった点」や「こうすればもっとよくなる」といったことについての意見を出し合い、出てきた意見を説明学年に伝える。自分たちの活動を肯定的にとらえ、説明をさらに改善しようとすることに意欲的に取り組めるように指導していきたい。

図1 キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関わるアンケート



## 指導目標

- (1) 自分の役割と責任を意識し、担当する役割を遂行できるようにする。
- (2) 計画に沿った見通しのある活動ができるようにする。
- (3) 考えたことを説明したり、質問に応答したりすることができるようにする。

## 評価の観点（網掛けは本時の重点）

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
人間関係形成・社会形成能力	協力して説明会を行うことに意欲を持つ。	他者の意見を取捨選択できる。	他者や自分の意見から説明にふさわしい意見を選択することができる。	自らの意見を伝えるよりよい方法を理解することができる。
自己理解・自己管理能力	自ら学習したことを伝えることに意欲的である。	担当箇所について、よりよく伝わる方法を工夫することができる。①	他者と協力して説明資料の作成ができる。	活動によって学習したことを理解できている。
課題対応能力	自分の役割を意欲的に遂行することができる。	自らの役割遂行のために行うべきことを判断し行動することができる。	質問に対して的確な受け答えができる。	質問の内容を理解し、正確な受け答えができる。
キャリアプランニング能力	今後の活動のための改善点を意欲的に考えることができる。	説明したいことが、相手に伝わったか確認し判断できる。	今後の活動に生かせる意見を発信することができる。②	学習の目的や内容を理解し、他の学習に生かそうとすることができる。

## 指導計画（全8時間）

	主な学習内容
第一次 説明会の実施について （2時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが、おすすめする東雲中学校のよさを考える。</li> <li>・東雲中学校のよさについて誰かに伝えていくことを考える。</li> <li>・東雲小学校の児童が、知っていることや知りたいことについて、アンケート調査をおこなう。</li> <li>・小学生のアンケートや東雲中学校のよさについてまとめる。</li> </ul>
第二次 説明会の計画と準備 （4時間）本時3／4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが説明する内容と計画を考える。</li> <li>・学年ごとに説明会の準備をする。</li> <li>・学年ごとに説明会の練習をする。</li> <li>・リハーサルを行い、説明の工夫をする。・・・本時</li> <li>・説明会に向けて最終確認をする。</li> </ul>
第三次 説明会（1時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生を招き、説明会をする。</li> </ul>
第四次 説明会を終えて（1時間）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく出来たことと、もっとよくなるポイントを考えてみる。</li> </ul>

**準備物** 評価表、チェックシート、タブレット、付箋、模造紙

## 座席表

教卓					
K	G	A	D	N	M
J	I	B	E	□	O
□	H	C	□		

※□文字は女子

本時の目標 ・担当箇所について、よりよく伝わる方法を工夫することができる。①

【思考・判断・表現／自己理解・自己管理能力】

・今後の活動に生かせる意見を発信することができる。②

【技能／キャリアプランニング能力】

本時に関わる、生徒の実態と個別の目標、支援(例)

学年	生徒	本単元に関わる実態	個別の目標	目標達成のための手立て
1	O	確認を求め、自信を持って活動することが少なく、学習においても言い切ったり行動したりすることが少ない。よい発言や行動をその都度伝えることで自信を持った語尾で話したり行動したりすることが増えてきている。	堂々とした態度で、最後まで落ち着いて説明することができる。 【思考・判断・表現／自己理解・自己管理能力】	不安が見られた場合は、説明内容や話し方についてこれまでの学習を思い出させるような声かけで再確認させる。
1	P	教員や親しくない人に対して、言わなければならないことを自分で伝えるのが不得意で、友だちにかわりに言ってもらえることが多い。発言を促す声かけをし、経験を積ませることで、自分で伝えようとする場面が増えてきている。	自分の担当部分や質問に対し、はっきりと伝えたり答えたりすることができる。 【思考・判断・表現／自己理解・自己管理能力】	立ち位置や説明の順番に配慮をし、周りの様子からも再確認させ、自信を持ってできるようにする。
2	C	発音が不明瞭で、発言に苦手意識を持っており、意見の表出に時間がかかる。初対面の人に話をする機会を重ねることで、徐々に自信をつけてきている。	相手の方を見て大きな声で説明することができる。 【思考・判断・表現／自己理解・自己管理能力】	予めメモを用意しておくことで、安心感を持たせる。
2	E	学年のリーダー的存在である。相手の言動に対してせっかちな言動や、きつい発言になることがあるが、感情をコントロールし、穏やかな声かけができるようになってきている。	他の生徒からの指摘を受け止め、改善しようとすることができる。 【技能／キャリアプランニング能力】	感情的になった場合は、自分がやるべきことを確認するよう声かけをする。
3	H	初めての活動に抵抗感があり、納得できないと活動に取り組めなくなることがある。活動の見通しが持て、周りの雰囲気落ち着けば、やらなければならない場面で、自分から取り組むことができるようになってきている。	自分の役割を意識して、落ち着いて取り組むことができる。 【思考・判断・表現／自己理解・自己管理能力】	説明順にならび、自分の説明場面をイメージしやすくする。周りから、過度な声かけにならないようにする。
3	J	注意が散漫なため、まわりのことに気を取られることが多い。やるべきことをしっかり理解することで、課題に集中して取り組むことができるようになってきている。	どうすれば相手に伝わりやすいのか考えることができる。 【技能／キャリアプランニング能力】	他学年からの意見をもとに、伝える相手のことについて考えさせる。

「グローバル時代を切り開く資質・能力」の視点

仲間や集団とかかわりながら、生徒自身が考えや見通しをもって行動し表現することで「自分らしい進路を考える力」につなげていく。

## 学習の展開

	学習活動 (○) と支援 (●)	指導上の留意点 (◆評価)
導入	1. 本時の学習について 3分	□発表を聞き改善点を見つけやすいよう、あらかじめいくつかの視点を提示する。
	○ワークシートに本時の学習内容を記入する。 ○説明会リハーサルとチェックシートの使用法について説明を聞く。	
展開	2. 説明会リハーサル 40分	□説明順や説明時間など決まりを意識できるようにする。  ◆担当箇所について、よりよく伝わる方法を工夫することができる。① <b>【思考・判断・表現／自己理解・自己管理能力】</b>  ◆今後の活動に生かせる意見を発信することができる。② <b>【技能／キャリアプランニング能力】</b>
	○学年ごとに説明をする。 —— (各5分) ●説明する態度について問いかけ、意識させる。 3年生 「自分たちの進路」 2年生 「職場体験学習」 1年生 「中学校の生活」 ・タブレットで説明を記録する。 ・説明学年は説明後、自分たちの説明について振り返る。 ●アピールポイントを達成するための自分の工夫を考えさせる。 ・説明学年以外は、説明を聞き感想や意見をチェックシートに記入する。 ●記入が難しい生徒については、選択肢を用意し選べるようにするなど、個別に支援する。 ・学年の意見を記入したチェックシートを、説明学年に渡す。  ○学年ごとに改善ポイントについて話し合う。 ・チェックシートから「よいところ」と「もっとよくなるところ」について話し合う。 ・タブレットの映像を確認させ改善のポイントについて話し合う。 ●他学年からの指摘を「こうしたらもっとよくなる」といった改善点にできるよう支援する。  ○学年で話し合ったことを発表する。 ●説明を聞く態度について問いかけ、意識させる。	
まとめ	3. 本時の振り返り 7分	□次回の活動に見通しが持てるよう日程を伝える。
	○振り返りをワークシートに記入する。 ●記入が難しい生徒については、問いかけによって感想や自己評価を引き出す。  ○今後の学習について確認する。	